

G-Doctor

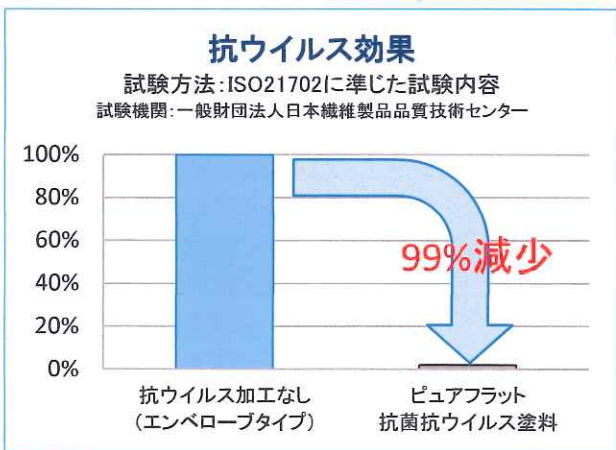
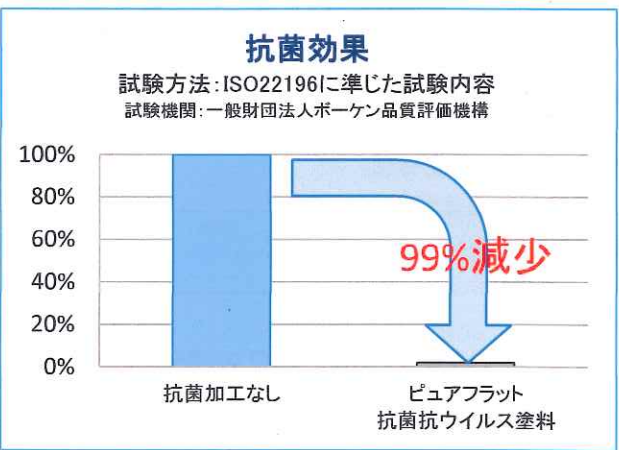
ピュアフラット 抗菌抗ウイルス塗料

主剤：UF-11-***P（硬化剤：CB-261）

特徴

- ◇ 菌・ウイルスに効果のある無機抗菌・抗ウイルス剤を最適な状態で配合しています。
- ◇ 抗菌・抗ウイルス剤の主成分は特殊銀化合物で安全性に優れます
- ◇ ベースは2液型ポリウレタン系上塗り塗料なので、家具・建材向けの上塗り塗料と同様にお使い頂けます。
- ◇ 木質感のある自然な仕上がりが得られます。
- ◇ 耐汚染性、耐薬品性、耐変色性に優れた高性能な表面性能が付与できます。

効果



※抗菌・抗ウイルスともSIAA表示基準をクリアー。<SIAAコード…抗菌：JP0112963X0001E／抗ウイルス：JP0612963X0001J>
(抗菌製品技術協議会(SIAA)は抗菌・抗ウイルス性能基準値として、活性値 2.0 以上を要求しています。)

薬機法により特定のウイルス名表記ができないため、エンベロープタイプと表現しております。

抗菌・抗ウイルス加工は病気の治療や予防を目的とするものではありません。

ISOで定められた一定条件下で効果を確認したもので、あらゆる条件下の性能を保証するものではありません。

塗料の安全性

- ・急性経口毒性 : 2,000mg/kg以上(ラット)
- ・皮膚一次刺激性 : 刺激なし(ウサギ)
- ・変異原性(Ames) : 陰性(細菌5種)
- ・皮膚感作性 : 陰性(モルモット)

塗料仕様

- 主 剤 / UF-11-***P…16K、4K
- 硬化剤 / CB-261…4K、1K
- 配合比 / 主剤:硬化剤 = 4 : 1
- ツヤ設定 / 50P(50%ツヤケシ)、70P(70%ツヤケシ)、99P(100%ツヤケシ)、95P(150%ツヤケシ)

塗装工程(一例)

工程	使用材料	配合比	塗布量	乾燥時間(20℃)
1 素地調整	P180~P220 サンドペーパー			
2 着色	目止め : Z7-71-P 着色剤 : ZP-**** リターダー : TU-39	100 1~30 適量	刷毛塗り後、拭き取り (10~20g/m ²)	2時間以上
3 中塗り	ピュアサンジグシーラー: 主剤「US-30-*P」 硬化剤「CB-022」 ピュアうすめ液	100 50 75	スプレー 80~100g/m ²	4時間以上
4 研磨	P400~P600 サンドペーパー			
5 上塗り	抗菌・抗ウイルス塗料: 主剤「UF-11-**P」 硬化剤「CB-261」 ピュアうすめ液	100 25 75	スプレー 60~80g/m ²	8時間以上

塗膜物性

項目	方法	結果
耐汚染性	各汚染物質を滴下し被覆した後、24時間後にエタノールで拭き取り、痕跡の有無を評価。	しょうゆ ○
		ケチャップ ○
		カレー ○
		中性洗剤 ○
		キッチンハイター ○
		赤マジック ○
耐薬品性	各薬品を滴下し被覆した後、6時間後に水洗いで異常の有無を評価。	黒マジック ○
		青インク ○
		1%炭酸ナトリウム水溶液 ○
		5%酢酸 ○
耐溶剤性	各溶剤を滴下し被覆した後、6時間後の異常有無を評価。	ウレタンシンナー ○
		ラッカーシンナー ○
耐光性(塗膜)	フェードメータ48時間照射前後の色差を測定。	塗膜外観 ○
		△E 2.5
耐候性	キセノンウエザオ200時間照射前後の色差を測定し、塗膜変化を確認。	外観 ○
		△E 3.7
耐湿性	シーリングした試験片を湿度95% 50℃ 100時間後の塗膜変化を確認。	○
耐湿熱性	塗面に沸騰水を滴下し沸騰水入りビーカーを20分放置後の塗膜変化を確認。	○
耐湿潤寒熱繰り返し	試験片を湿度95% 50℃ 2時間後、-20℃ 2時間置き、これを1サイクルとして10サイクル後の塗膜変化を確認。	○
塗膜硬度	三菱鉛筆「ユニ」手書き法 荷重750g。(鉄板での値)	4H

※上記試験データはタモ集材材でのデータです。上記試験は弊社試験データであり、製品性能を保証するものではありません。

警告と注意事項

警告	(1) 引火性の液体である。(2) 溶剤中毒の恐れがある。
注意事項	吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ等の健康障害を起こす恐れがありますから、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。 (1) 取り扱い作業場所、火気の無い所で行い、局所排気装置を設けて下さい。又、燃料には使用しないで下さい。(2) 塗液中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。(3) 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク・保護手袋・前掛け等を着用して下さい。(4) 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。(5) 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。(6) 目に入った場合には多量の水で洗った後、又、誤って飲み込んだ時にはできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。(7) 蒸気、カス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安眠し、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。(8) 火災時には炭酸ガス・泡又は粉末消火器を使用して下さい。(9) よくフタをし、40℃以下で子供の手の届かない所に保管して下さい。(10) 中身を使い切ってから廃棄して下さい。

■商品の仕様、品番につきましては予告なしに変更する場合がありますのでご了承願います。■硬化乾燥時間については20℃での使用を目安にお考え下さい。(湿度、温度、下地の状態、塗料の塗布量、塗装環境により大幅に異なる場合があります) ■ご使用前には取り扱い、注意事項をお読み下さい。■商品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。

●商品のご用命は下記の代理店で



玄々化学工業株式会社

〒496-0005 愛知県津島市神守町字中ノ折74

Tel: (0567) 28-9207 Fax: (0567) 28-9219

E-mail: info@gen2.co.jp

URL: https://www.gen2.co.jp/

